

研究テーマ ●位置情報を活用したモバイル・ユビキタスコンピューティング

情報基盤統括センター

助教 小田 謙太郎

研究の背景および目的

インターネットは、利用者の位置によらず均一のサービスを提供しています。例えば検索エンジンは検索キーワードにより、情報を得たい者と情報提供者を国を超えて結びつけてきました。世界から情報が得られる一方で、実際の多くの人々の生活は地域に根付いたものです。これからのインターネットサービスは、「位置情報」により人々が暮らす地域の人々を結びつけ、直接実生活に役に立つものになるはずです。このような位置情報を活用したサービスやそのアーキテクチャの研究を行っています。

■おもな研究内容



例えば、自分がいる場所から半径5km以内の

- ・スーパー安売り情報
- ・リアルタイム駐車場空き情報
- ・火事、地震、火山灰情報
- ・売ります買います情報

が得られるサービス。

このようなサービスを実現するための基盤である、サービスアーキテクチャ、セキュリティ、アプリケーションフレームワーク、バックエンドシステム、センサシステムの研究を行っている。

ユビキタス:「いつでも、どこでも、だれでも」が恩恵をうけることができる環境、技術。

アーキテクチャ:設計方針。

バックエンドシステム:ユーザーからの要求に、データ処理を行って結果を送信するなど、後方にあるデータベースサーバーなどのこと。

期待される効果・応用分野

- ・地域活性化に結びつく新たなサービスが構築できます。
- ・地域限定の広告システム、プロモーション、マーケティングなどが可能になります。
- ・地域SNSが構築でき、それを利用したコミュニケーションが可能になります。

■共同研究・特許などアピールポイント

- ベンチャー企業との共同研究開発コンテンツにおいて、iPhoneアプリの利用順位、日本4位、イタリア4位、フランス11位の実績有り。
- 日立マクセルとの共同研究により、製品化(高音質化システムVraison)の研究開発経験あり

コーディネーターから一言

「位置情報」を活用したモバイル・ユビキタスのインターネットサービス基盤を研究。位置情報により地域の人々を結びつけ、日々の暮らしや地域活性化に役立つサービスを、共同研究・開発する企業を求めています。

研究分野	情報工学、ソフトウェアアーキテクチャ、モバイルコンテンツ
キーワード	分散ミドルウェア、コンピューティングクラウド、組込み機器、スマートフォン